はなおだより

平成２８年１１月２８日（月）
北九州市立花尾小学校
学校通信＜特集号＞８号

お兄さん、お姉さんとして　がんばったよ！
～済世第一幼稚園との交流（１年生）～

今年から、幼小連携教育の一環として、本校１年生が、生活科「秋の遊びランドを作って遊ぼう」の学習で済世第一幼稚園との交流を始めました。

先週の２５日（金）に３７名の園児が、１年生の教室にやってきました。日頃は、花尾小学校の中で一番下の学年ということから、周りのお兄さんやお姉さんによく甘えています。そのような１年生ですが、園児達の姿を見るやいなや顔が引き締まり、お兄さん、お姉さんの顔になっていました。

１年生は、それぞれのクラスで園児たちを温かく迎え、しっかりとお世話をしていました。交流会の進行も１年生がしっかりやっていました。

落ち葉を貼って、季節感を出しています。係で協力して作りました。

式　次　第

しっかり大きな声で進行をすることができていました。

進　行　係

１年生と園児達の交流の様子

１１月２２日（火）の「お店集会」のために作ったもので、園児たちと交流しました。手作りのおもちゃで、園児たちを楽しませようと一生懸命に関わっている１年生の姿は、お兄さんやお姉さんになっていました。お世話をする経験は、１年生を大きく成長させたことでしょう。

【さかなつり】
「この辺をねらってみて。」

【どんぐりゴルフ】
「準備はできたよ。」

【けん玉】
「紙コップに松ぼっくりを入れるよ。」

【紙コップで作ったマラカス】
「こうやって振るんだよ。」

【手作りのどんぐりのメダル】
園児にプレゼントしました。

済世第一幼稚園との交流を通して、相手の気持ちを察して行動することの難しさを感じ、また、相手が喜んだ時の心地よさも感じることができたはずです。これは小学校だけでは、経験できないことであり、幼小の交流の大きな意義です。